

## 09. 「心のバリアフリー」活動

活動分野	文化芸術	活動に参加している障害者			
		障害種別	身体	年齢	18～64 歳
活動地域	主に兵庫県 神戸市、三木市	実施主体 [NPO]	名 称:NPO 法人 ゆう工房 住 所:兵庫県三木市緑が丘町中1丁目8 - 24 電 話/fax:0794-87-2021 URL :http://www3.to/you-kobo		

### 活動概要

40代で中途視覚障害となった後、音楽に生きがいを見つけた双子の兄弟と、彼らと音楽を通じて知り合った仲間が中心となって、障害や年齢などの垣根を取り払い、誰もが気軽に入れるコーヒーハウス「オンリーゆうカフェ」を運営している。

カフェ内では、地域の様々な障害のある人や高齢者などみんなが集まって、歌や楽器演奏を楽しんでおり、ボランティアらスタッフも含め自然に語り合い、助け合って、誰もが過ごしやすい空間となっている。

また、毎週土曜日に、毎回様々なゲストを招き開催している音楽イベントでは、障害のある人や高齢者などのお客もスタッフも一緒に音楽を奏で、歌うことにより心の輪を広げており、毎回30人ほどが参加している。

さらに、2、3ヵ月に1回、大規模な「オンリーゆうコンサート」を主に神戸市、三木市で開催し、障害のある人となない人が共に一つの舞台に立ち音楽を奏でることでお互いの絆を深め、一体感を楽しんでいる。

加えて、学校、病院、各地公民館などで障害のある人となない人がともに出演する演奏会や音楽療法、講演会を実施しているほか、高齢者を対象に「大人塾」と称する健康教室を運営し、視覚障害のある双子の兄弟のギター演奏もプログラムに組み合わせ、楽しみながら地域の人たちの頭・身体・心の健康維持に取り組んでいる。



## 活動を始めた背景・経緯

病気により40代になってから視力をほとんど失った後、同じ視覚障害のある人たちの集まった茶話会で、参加者の一人が演奏していたギターに出会い音楽に生きがいを見つけ演奏活動を始めた双子の兄弟と、彼らと音楽を通して知り合った音楽療法士らボランティアが集まり、障害の有無や年齢に関わらず、地域の誰もが気軽に入れ、いつも音楽とおいしいコーヒーを楽しめるバリアフリー空間を作りたいと考えた。

当初、運営資金の用意が十分でなかったため、賛同者が中心となってコンサート活動をしながらか募金を行った。そして、2007年3月にNPO法人を設立し、当時シャッター通りとなっていた商店街の一角に、街の活性化も兼ねて11月にカフェをオープンした。



## 活動目的

- ・障害のある人もない人も気軽に集い、語り合い、助け合い、音楽を楽しめるカフェを運営する。
- ・コンサート活動を通じて、障害のある人や高齢者等の生きがい、やりがい、交流促進に寄与する。
- ・音楽療法や体操などによる頭・身体・心の健康維持のための教室を開催する。
- ・また、ゆう工房代表である視覚障害のある兄弟が、学校、病院、公民館などの様々な場で活発に演奏活動をするを通じて、同じように障害のある人たちの励みに少しでもなれたらと考えている。

## 活動の成果又は効果

- ・障害のある人、高齢者、スタッフ等が自然に助け合い、語り合える空間「オンリーゆうカフェ」を作ることによって、障害のある人の社会参加促進に寄与することができた。
- ・障害の有無に関わらず演奏者と多くのボランティアらが、観客と一緒に一つ一つの音楽イベントを作り上げることで、仲間の輪を広げ、心のバリアフリーを実現できた。
- ・学校、病院、各地公民館などで開催される様々なイベントで演奏を行い観客と一緒に音楽を楽しむことにより、心のバリアフリーという活動理念を広く伝えることができた。
- ・カフェという拠点があることにより、地域の人たちとの交流が以前にも増して盛んになり、街の活性化にもつながった。



## 活動を継続する上で工夫した点

- ・活動の企画・運営について常日頃からスタッフ同士で話し合いを行い、方向性についての意思統一を図っている。
- ・障害のある人とない人が自然に助け合える環境作りのため、一緒に音楽を楽しむこと、お互いが話しやすくなるようなテーブル配置、誰もが声かけしやすい雰囲気作りに常に注意を払っている。
- ・カフェでの音楽イベントを土曜日を実施することにより集客率が上がり、たくさんのお客で賑わっている。
- ・コンサートの企画に当たっては、障害のある人もない人も共に楽しめる内容をいつも工夫している。
- ・地元の人たちにも色々な目的でカフェを活用してもらうことにより地域とのつながりを深めている。その一環として、毎月1～8日には、出品者を募って手作り雑貨を販売しており、非常に好評で、たくさんの方がカフェに足を運んでくれるようになった。
- ・ゆう工房の代表である視覚障害のある兄弟が市内の小学校で盲導犬や白杖についての体験談をするなど、カフェやイベントでの演奏活動以外にも様々な活動を通じて障害への理解啓発に努めている。
- ・広報誌を年4回発行し、活動内容の周知に努めている。

## 活動を継続する上での課題

- ・運営資金の調達が一番の課題である。現在は三木市社会福祉協議会からの委託事業(手作りの募集・販売業務、地域交流の場づくり)があるため一定の収入を確保できているが、2010年11月で業務委託が終了してしまうので、今後は、活動の幅をより広げて会員を増やし、色々なイベントや「大人塾」のような教室を開催することで、運営資金の確保に努めていく必要がある。
- ・活動後継者、ボランティア等の人材育成も課題である。  
ただし、普段の活動を通じて、関心を持ちボランティアになってくれる人も徐々にではあるが出てきているので、今後もこのような動きを継続できるようにしていきたい。



## 共生社会実践活動として今後予定しているもの又は実施してみたいもの

- ・「オンリーゆうコンサート」の継続(2、3ヵ月に1回実施)
- ・「オンリーゆうつながりコンサート」の開催(2010年5月30日)  
(客席と出演者やボランティアらスタッフが一緒に楽しめる内容を企画している。来場者にも手作りの楽器を持参してもらい、音楽を通じ会場全体が一体になれるようにと考えている。)
- ・多くのイベントに呼ばれるようになってきたが、これからも様々なイベントにどんどん出かけて行き活動を広げていきたい。

## 実施体制

- ・スタッフ 10人 ボランティア 30人前後
- ・三木市社会福祉協議会、デイサービスセンターを始めとする地域の知的障害者・身体障害者作業所や特別支援学校などと協力・連携

## キーワード

音楽、バリアフリー



## 10. マーガレットコンサート

活動分野	文化芸術	活動に参加している障害者			
		障害種別	身体・知的・精神	年齢	全年齢
活動地域	広島県広島市	実施主体 【自治体】	名称：広島市健康福祉局障害福祉部障害福祉課 住所：広島県広島市中区国泰寺町1丁目6番34号 電話：082-504-2147      fax：082-504-2256 URL：http://www.city.hiroshima.jp		

### 活動概要

障害のある人のより積極的な社会参加を促すために、障害のある人と広島交響楽団とのジョイントコンサートを毎年開催している。また、コンサートにおいては、「仕事体験」の一環として、障害のある児童・生徒による受付とコーヒーサービスを行うとともに、共同作業所による作品の展示・販売を行っている。



< 2010 マーガレットコンサート プログラム >

第1部 広島交響楽団の演奏(ヨハン・シュトラウス2世 喜歌劇「こうもり」序曲 ほか)

第2部 障害のある人と広島交響楽団のジョイント(和太鼓、合唱・手話コーラス)

### 活動を始めた背景・経緯

障害のある人とない人とのふれあい等を目的として毎年開催される「フラワーフェスティバル ふれあいの広場」が25周年を迎えたことを記念し、平成17年度から毎年開催している。

### 活動目的

- ・障害のある人と広島交響楽団とのジョイントコンサートを開催し、障害のある人のより積極的な社会参加の促進を図ることを目的とする。
- ・コンサートへの出演・来場により、障害のある人にもない人にも障害のある人の社会参加の大切さを認識してもらう。

## 活動の成果又は効果

2009 マーガレットコンサートには、193 人が出演し、1,160 人が来場した。

来場者に対し実施したアンケートの集計結果によると、回答者の9割以上が「障害のある人の社会参加の大切さを認識した」と回答した。

また、より多くの障害のある人に音楽を楽しんでもらうために、振動により音を体感できる「体感音響システム」を導入しており、聴覚障害のある人も来場している。

## 活動を継続する上で工夫した点

- ・多くの人に鑑賞してもらうため、プレイガイドでチケットを販売した。
- ・聴覚障害のある人たちにコンサートを一層楽しんでもらえるよう、体感音響システムを 30 台導入した。



## 活動を継続する上での課題

PRが、市の広報誌やホームページ等の手段にとどまっているので、幅広く認知されている活動とはいえない。

活動目的の達成のためには、より多くの方法で周知していく必要がある。

## 共生社会実践活動として今後予定しているもの又は実施してみたいもの

活動目的の達成のため、今後もコンサートを毎年継続して開催できるようにしていきたい。

また、どのような障害のある人でも楽しめるコンサートにするため、体感音響システムの他にも色々な手法を取り入れていきたい。

## 実施体制

- ・市職員 13 人
- ・2010 マーガレットコンサート 実行委員 15 人
- ・ボランティア 20 人
- ・各障害者団体及び広島交響楽団と連携して行っている。
- ・21 年度予算額 5,226,000 円

## キーワード

ジョイントコンサート、障害のある人となない人の相互理解、障害のある人の社会参加促進